

第43回 景気動向レポート

2022年7~9月期

○概要

調査時期 令和4年9月上旬
 調査地域 平塚市、厚木市、相模原市、大和市、
 伊勢原市、秦野市、座間市、
 海老名市、茅ヶ崎市、高座郡、愛甲郡
 全調査先 当金庫取引先 319先
 回答先数 当金庫取引先 316先
 (内訳) 製造業：63先
 卸売業：19先
 小売業：47先
 サービス業：73先
 建設業：84先
 不動産業：30先
 回答率 99.0%

○調査方法

当金庫職員による面接聞き取り方式、または、
 調査先による直接記入・回収方式

○分析方法

DI (Diffusion Index)

DIとは、各質問項目に対して「良い(増加・上昇)」
 と回答された企業の割合から「悪い(減少・下降)」
 と回答された企業の割合を差引いて算出した指標です。
 DIがプラスであれば上向き、0であれば現状維持、
 マイナスであれば下向きというように判断できます。

業況DIの推移 (業種別DI天気図)

	2021年 7-9月期	2021年 10-12月期	2022年 1-3月期	2022年 4-6月期 (前期)	2022年 7-9月期 (当期)	2022年 10-12月期 (予想)
製造業	↗ ☁	↗ ☁	⇒ ☁	↘ ☁	↗ ☁	↘ ☁
卸売業	↗ ☂	↗ ⬆	↘ ☂	↗ ⬆	↘ ⬆	↗ ⬆
小売業	↘ ⬆	↗ ☁	↘ ☂	↗ ⬆	↘ ⬆	↘ ☂
サービス業	↘ ☁	↗ ☁	↘ ☁	↗ ☁	↘ ☁	↗ ☁
建設業	↗ ☁	↘ ☁	↘ ☁	↘ ☁	↗ ☁	↗ ☁
不動産業	↘ ☁	↗ ☁	↘ ⬆	↗ ☁	⇒ ☁	↘ ☁
全業種	↗ ☁	↗ ☁	↘ ☁	↗ ☁	↘ ☁	↗ ☁



全業種

今期：収益DIは改善、業況・売上DIは悪化
 来期：業況・売上・収益DI共に改善の見込み

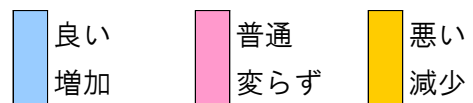
2022年7～9月期の当金庫営業地区内における業況DIは、対前期比▲2.3ポイントの▲10.2と悪化。製造業・建設業で改善、不動産業で横這い、卸売業・小売業・サービス業で悪化となりました。

売上DIについては、対前期比▲0.7ポイントの▲1.9となり、収益DIは対前期比+1.3ポイントの▲11.3となりました。

その他のDIでは、販売・料金・請負価格DIは対前期比+9.0ポイントの22.8となり5期連続の上昇、仕入・原材料・材料価格DIは対前期比▲3.6ポイントの63.8となり9期ぶりの低下、資金繰りDIは対前期比+2.5ポイントの▲3.5となりました。人手DIについては対前期比+1.1ポイントの▲27.2となりました。

来期（2022年10～12月期）の業況予想では、卸売業・サービス業・建設業で改善、製造業・小売業・不動産業で悪化を予想しており、全業種総合業況DIは、対当期比+0.2ポイントの▲10.0と改善を見込んでいます。

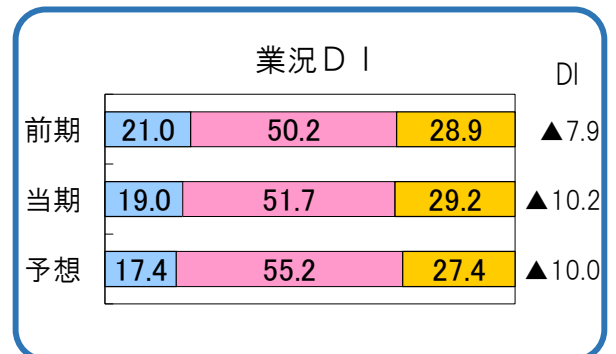
主要DI構成



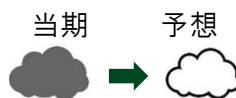
○業況DI



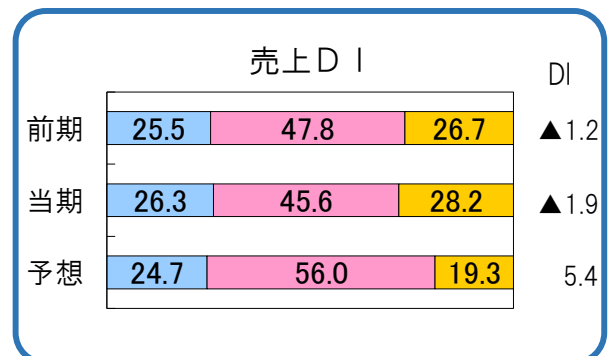
業況DIは、対前期比▲2.3ポイントの▲10.2(前年同期▲12.1・前回予想との差▲2.9)となりました。製造業・建設業で改善、不動産業で横這い、卸売業・小売業・サービス業で悪化となり、業況DIは悪化となりました。今後の業況DIは、対当期比+0.2ポイントの▲10.0と改善を見込んでいます。



○売上DI



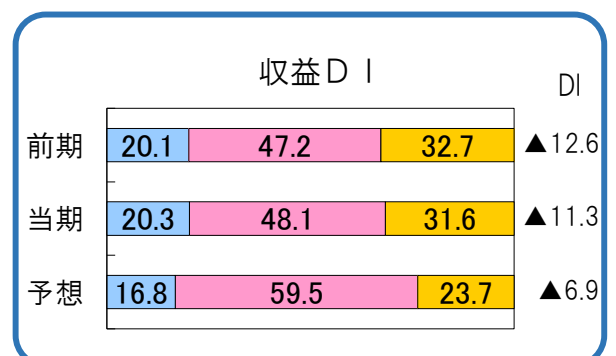
売上DIは、対前期比▲0.7ポイントの▲1.9(前年同期▲8.9・前回予想との差▲7.2)となりました。建設業・不動産業は改善、製造業・卸売業・小売業・サービス業で悪化となり、売上DIは悪化となりました。今後の売上DIは、対当期比+7.3ポイントの5.4と改善を見込んでいます。



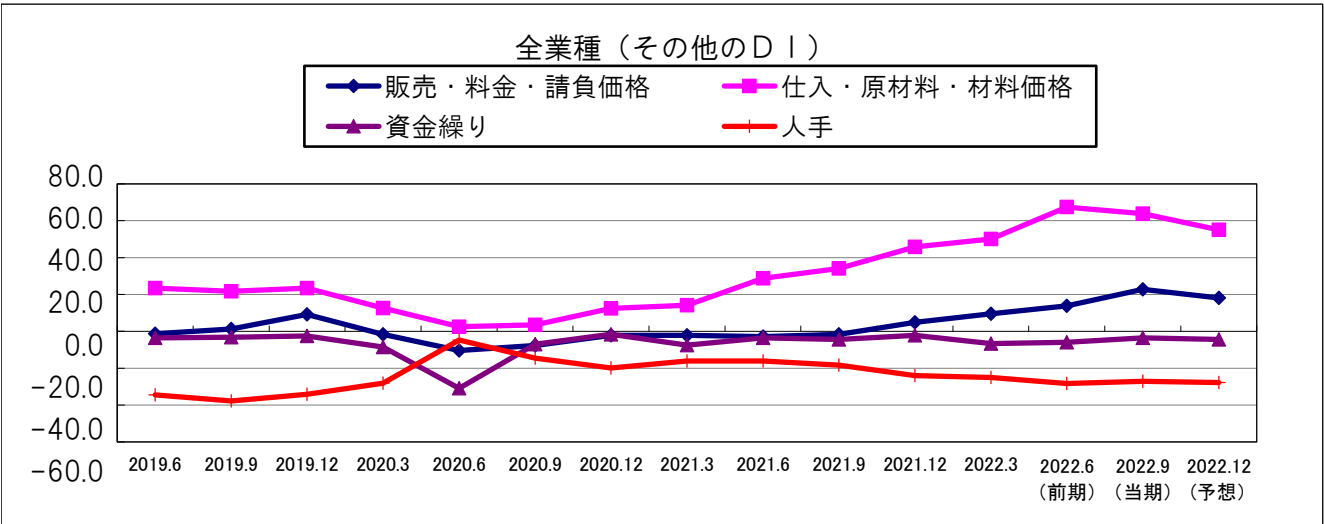
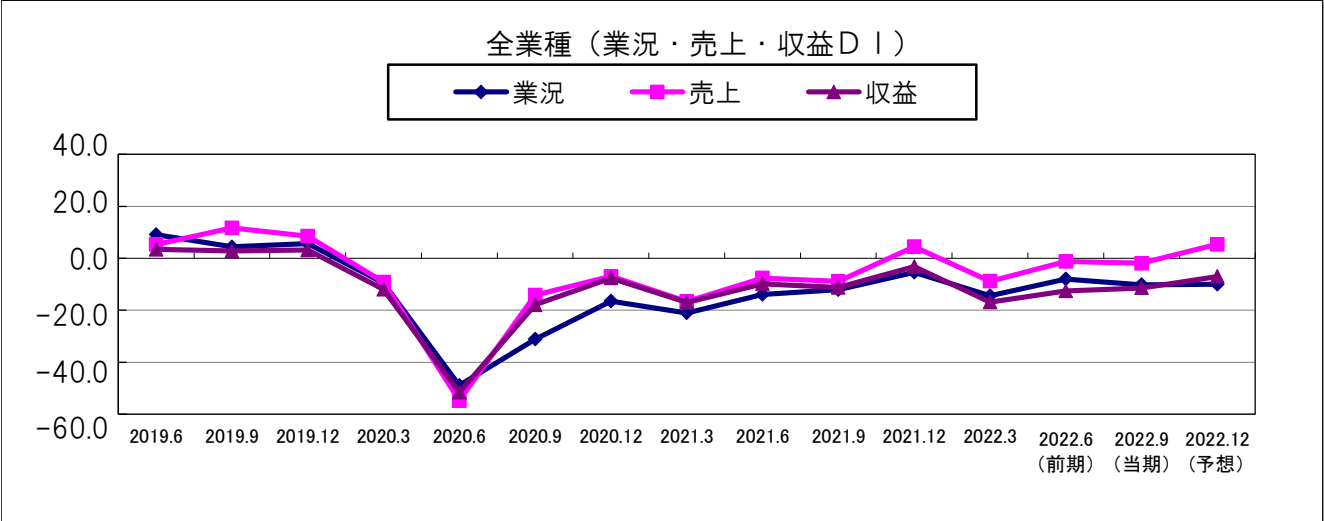
○収益DI



収益DIは、対前期比+1.3ポイントの▲11.3(前年同期▲11.2・前回予想との差▲7.6)となりました。製造業・建設業は改善、卸売業・小売業・サービス業・不動産業で悪化となり、収益DIは改善となりました。今後の収益DIは、対当期比+4.4ポイントの▲6.9と改善を見込んでいます。



DIの推移



経営サポートセンターNEWS

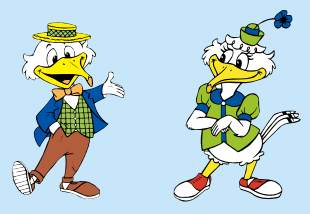
経営者・創業希望者の皆様へ
課題解決のサポートをさせていただきます！！



- ◎主なサポートメニュー
- 創業支援
 - 販路拡大
 - M & A
 - 事業承継
 - ICT
 - 補助金等

◎課題解決に関するお問い合わせは
〒254-0043 平塚市紅谷町11-19
平塚信用金庫 営業統括部 経営サポートセンター
TEL: 0463-24-3031

TRInk Hiratsuka
平塚信用金庫
<http://www.shinkin.co.jp/hiratsuka/>



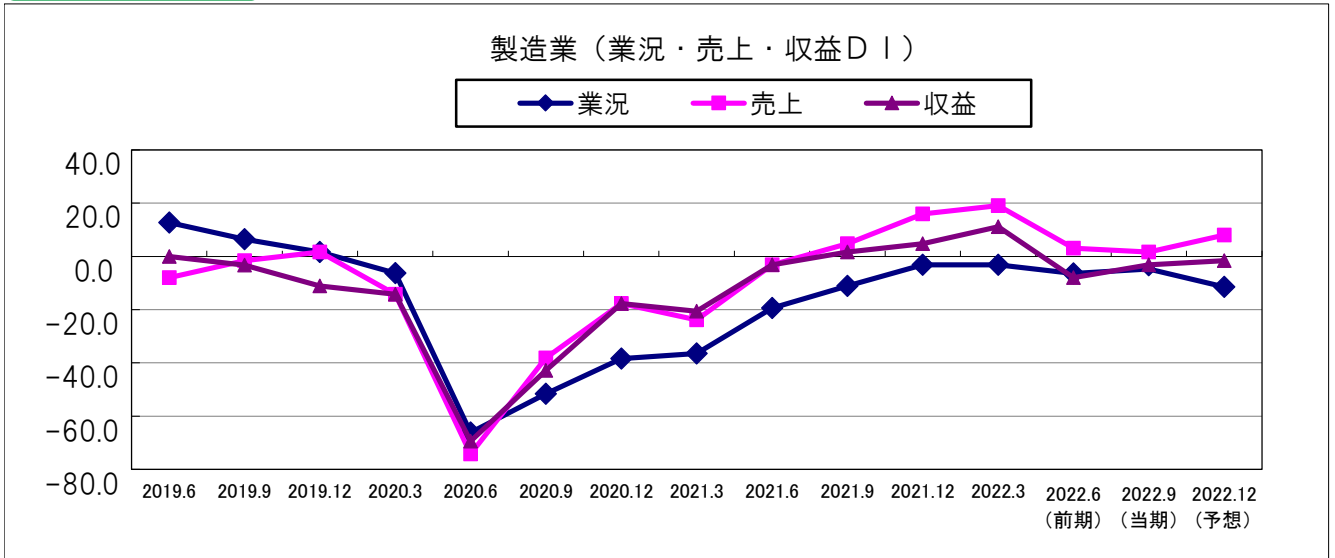
経営サポートセンターでは、
多くの専門家や外部機関と連
携して、お客さまの課題解決
に取り組んでいます。
お困りごとは、是非ひらしん
まで。お客さまと共に課題解
決のサポートをさせていただきます！

製造業

今期：業況・収益DIは改善、売上DIは悪化

来期：売上・収益DIは改善、業況DIは悪化の見込み

主要DI推移



主要DI構成



○業況DI



業況DIは、対前期比+1.8ポイントの▲4.7(前年同期▲11.1・前回予想との差+3.4)の改善となりました。今後の業況DIについては、対当期比▲6.8ポイントの▲11.5と悪化を見込んでいます。

	良い増加	普通変らず	悪い減少	DI
前期	25.8	41.9	32.3	▲6.5
当期	28.6	38.1	33.3	▲4.7
予想	21.3	45.9	32.8	▲11.5

○売上DI



売上DIは、対前期比▲1.5ポイントの1.6(前年同期4.8・前回予想との差▲6.4)と2期連続の悪化となりました。今後の売上DIについては、対当期比+6.3ポイントの7.9と改善を見込んでいます。

	良い増加	普通変らず	悪い減少	DI
前期	31.7	39.7	28.6	3.1
当期	28.6	44.4	27.0	1.6
予想	22.2	63.5	14.3	7.9

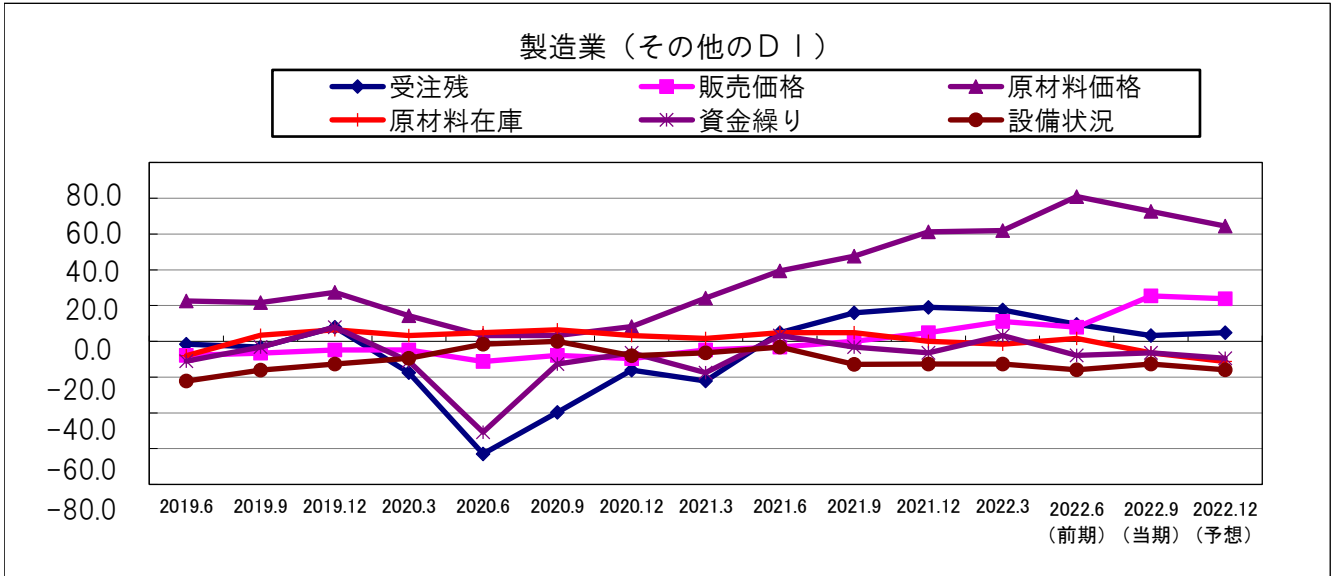
○収益DI



収益DIは、対前期比+4.7ポイントの▲3.2(前年同期1.6・前回予想との差▲11.2)の改善となりました。今後の収益DIについては、対当期比+1.7ポイントの▲1.5と改善を見込んでいます。

	良い増加	普通変らず	悪い減少	DI
前期	27.0	38.1	34.9	▲7.9
当期	23.8	49.2	27.0	▲3.2
予想	17.5	63.5	19.0	▲1.5

その他のD | 推移

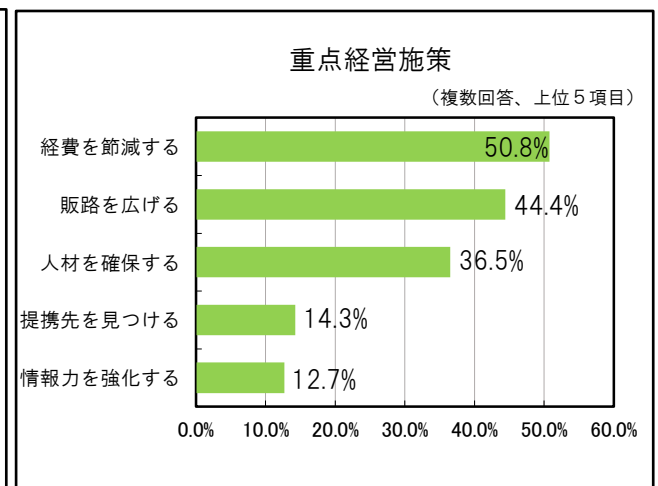
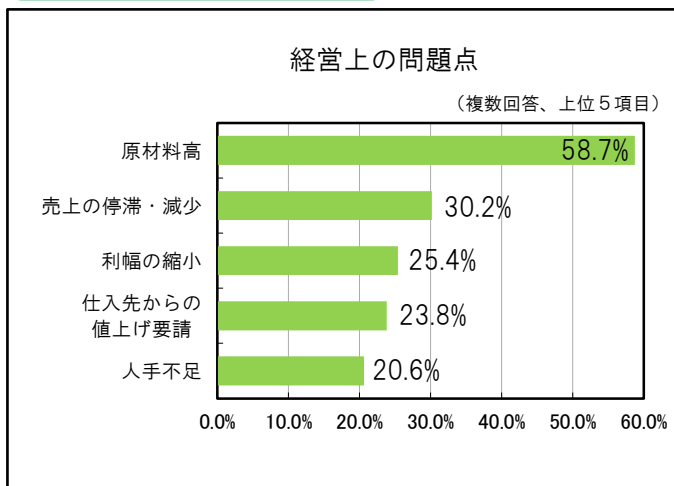


○その他のD |

対前期比でみると、受注残DIは▲6.3ポイントの3.2、販売価格DIは+17.5ポイントの25.4、原材料価格DIは▲8.4ポイントの72.6、原材料在庫DIは▲8.1ポイントの▲6.5、資金繰りDIは+1.6ポイントの▲6.3、設備状況DIは+3.2ポイントの▲12.7となりました。

今後は、受注残DIは上昇、販売価格DI・原材料価格DI・原材料在庫DI・資金繰りDI・設備状況DIは低下を見込んでいます。

経営課題・重点施策



【経営課題】

経営上の問題点として挙げられたのは「原材料高」が58.7%と最も多く、次いで「売上の停滞・減少」30.2%、「利幅の縮小」25.4%、「仕入先からの値上げ要請」23.8%、「人手不足」20.6%となりました。

【重点施策】

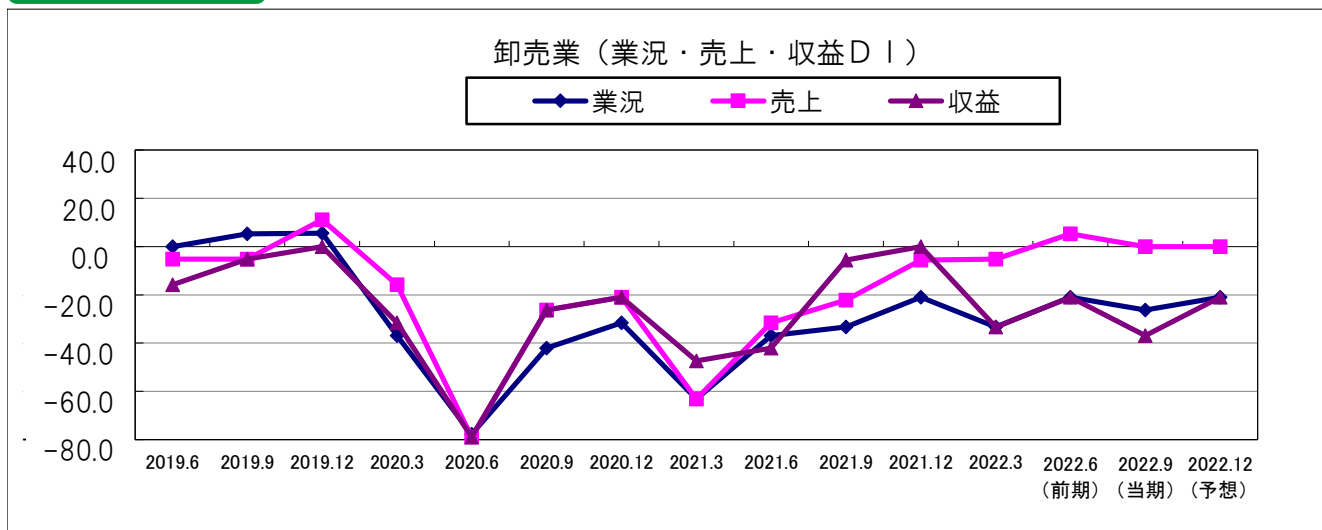
当面の重点経営施策として挙げられたのは「経費を節減する」が50.8%と最も多く、次いで「販路を広げる」44.4%、「人材を確保する」36.5%、「提携先を見つける」14.3%、「情報力を強化する」12.7%となりました。

卸売業

今期：業況・売上・収益D I 共に悪化

来期：業況・収益D I は改善、売上D I は横這いの見込み

主要D I 推移

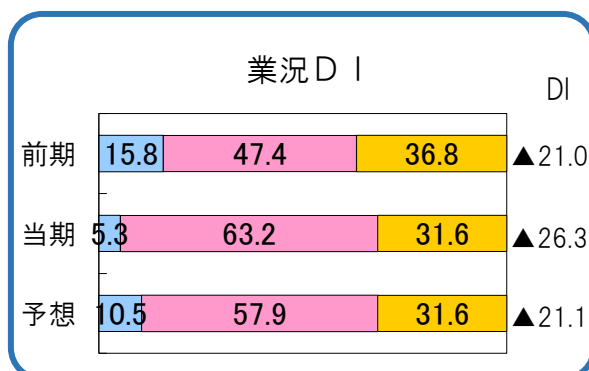
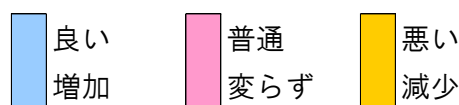


主要D I 構成

○業況D I



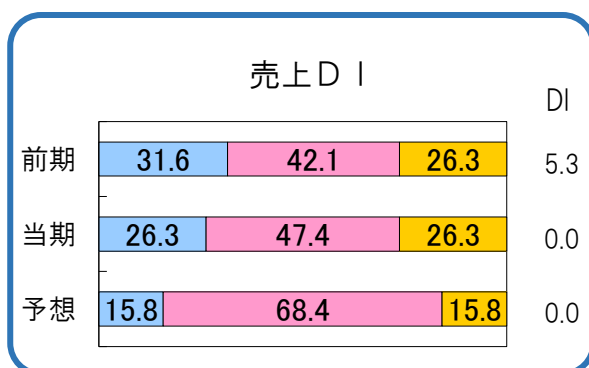
業況DIは、対前期比▲5.3ポイントの▲26.3(前年同期▲33.3・前回予想との差▲10.5)の悪化となりました。今後の業況DIについては、対当期比+5.2ポイントの▲21.1と改善を見込んでいます。



○売上D I



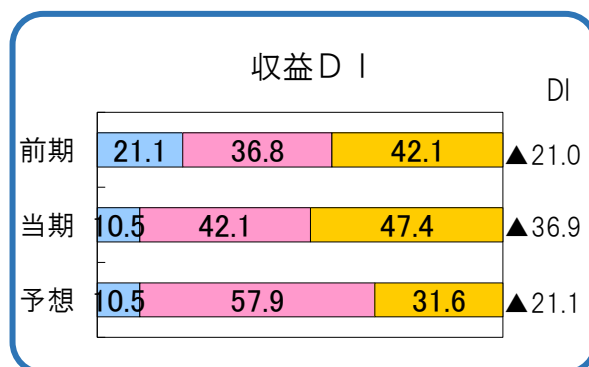
売上DIは、対前期比▲5.3ポイントの0.0(前年同期▲22.2・前回予想との差▲31.5)と6期ぶりの悪化となりました。今後の売上DIについては、対当期比±0ポイントの0.0と横這いを見込んでいます



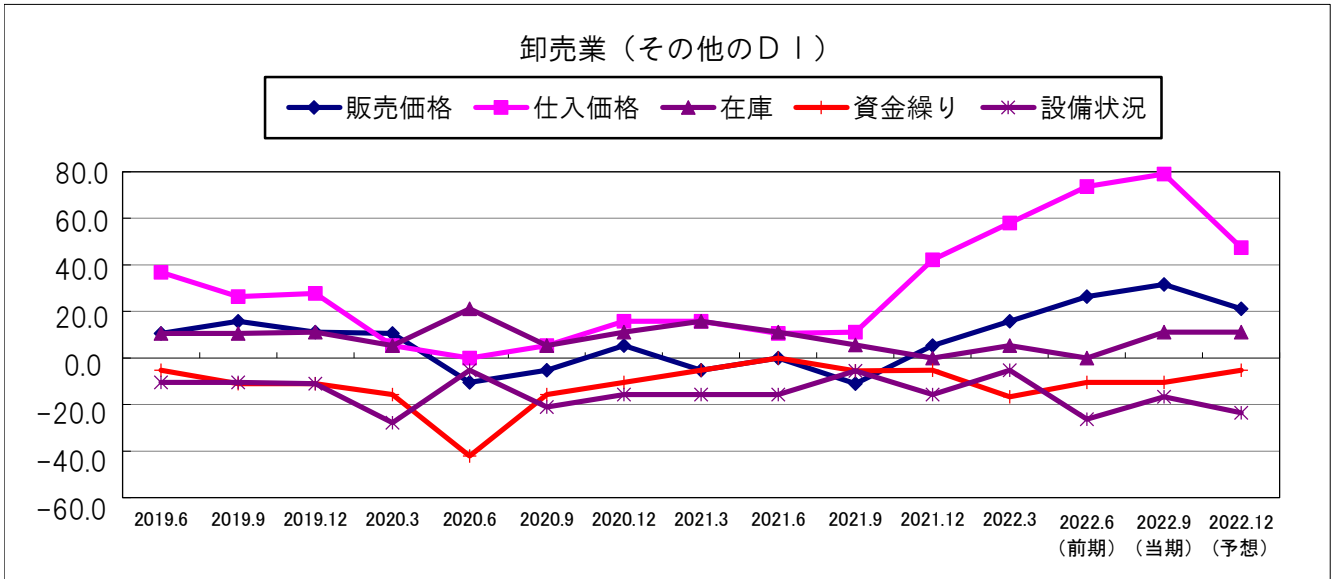
○収益D I



収益DIは、対前期比▲15.9ポイントの▲36.9(前年同期▲5.6・前回予想との差▲42.1)と大幅な悪化となりました。今後の収益DIについては、対当期比+15.8ポイントの▲21.1と大幅な改善を見込んでいます。



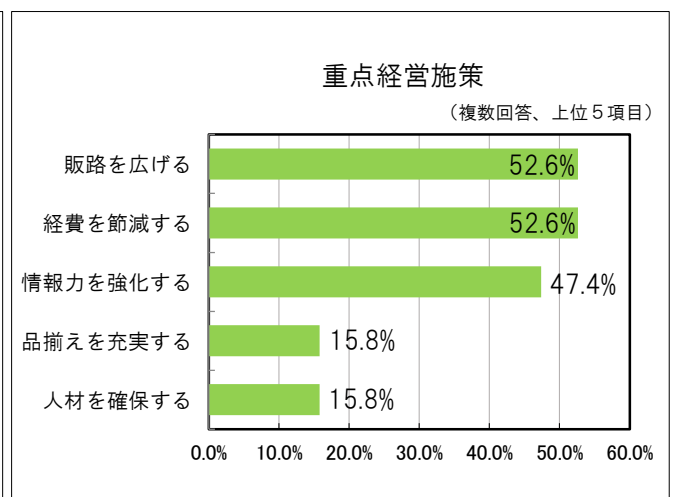
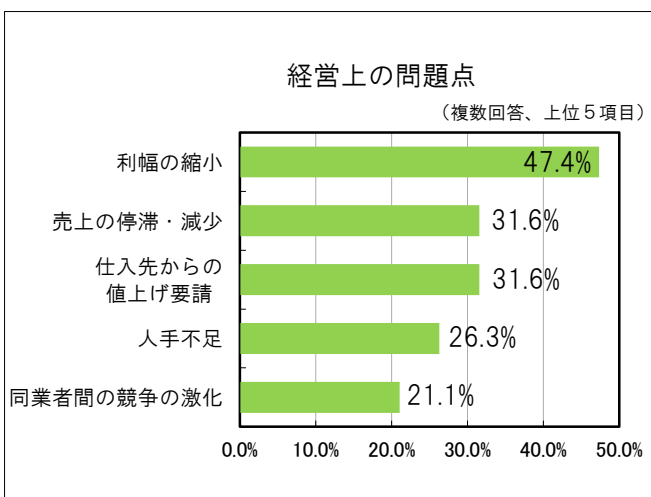
その他のD I 推移



○その他のD I

対前期比で見ると、販売価格DIは+5.3ポイントの31.6、仕入価格DIは+5.2ポイントの78.9、在庫DIは+11.1ポイントの11.1、資金繰りDIは±0.0ポイントの▲10.5、設備状況DIは+9.6ポイントの▲16.7となりました。今後は、資金繰りDIは上昇、在庫DIは横這い、販売価格DI・仕入価格DI・設備状況DIは低下を見込んでいます。

経営課題・重点施策



【経営課題】

経営上の問題点として挙げられたのは「利幅の縮小」が47.4%と最も多く、次いで「売上の停滞・減少」「仕入先からの値上げ要請」が共に31.6%、「人手不足」26.3%、「同業者間の競争の激化」が21.1%となりました。

【重点施策】

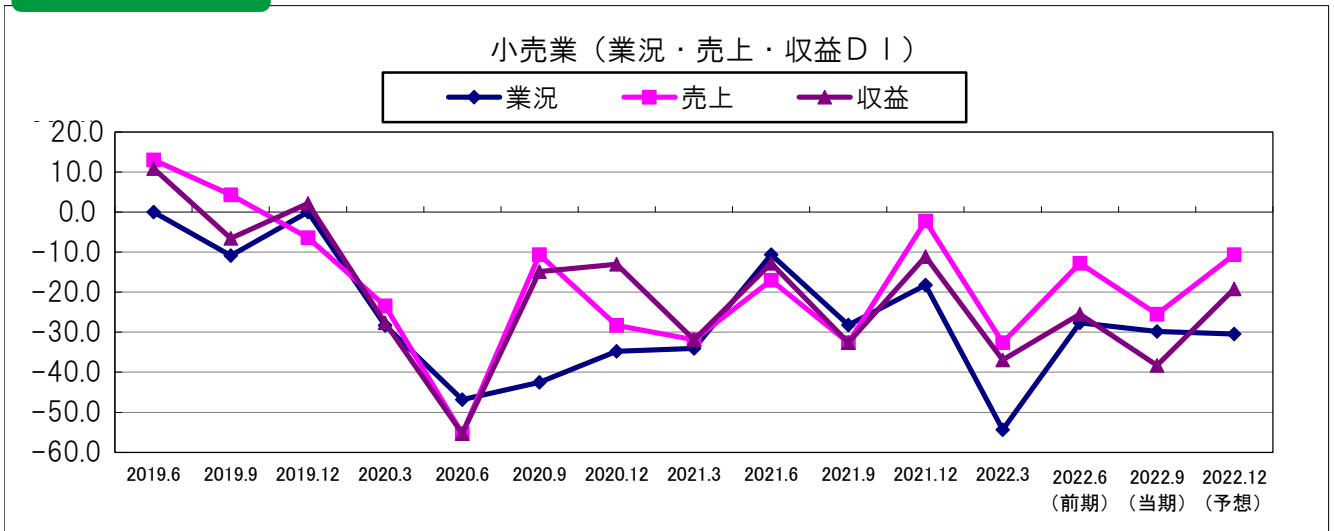
当面の重点経営施策として挙げられたのは「販路を広げる」「経費を節減する」が共に52.6%と最も多く、次いで「情報力を強化する」47.4%、「品揃えを充実する」「人材を確保する」が共に15.8%となりました。

小売業

今期：業況・売上・収益D I 共に悪化

来期：売上・収益D I は改善、業況D I は悪化の見込み

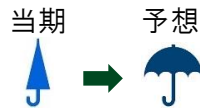
主要D I 推移



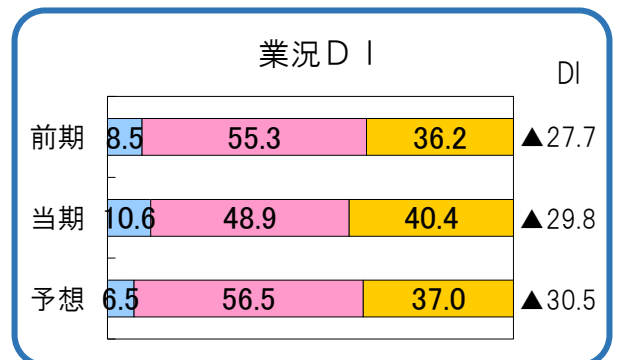
主要D I 構成



○業況D I



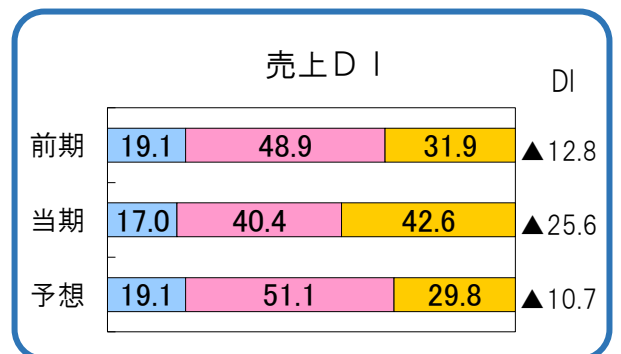
業況D Iは、対前期比▲2.1ポイントの▲29.8(前年同期▲28.2・前回予想との差+2.8)の悪化となりました。今後の業況D Iについては、対当期比▲0.7ポイントの▲30.5と悪化を見込んでいます。



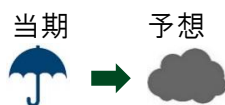
○売上D I



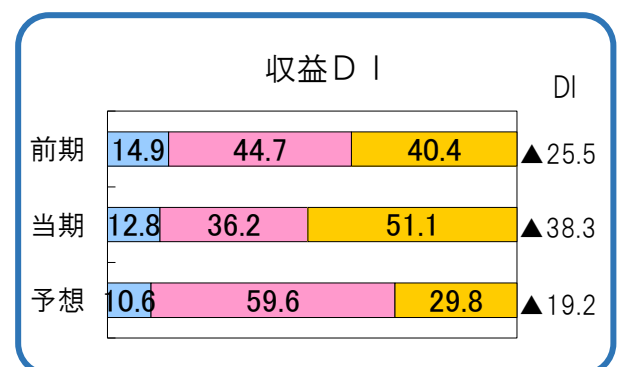
売上D Iは、対前期▲12.8ポイントの▲25.6(前年同期▲32.6・前回予想との差▲12.9)と大幅な悪化となりました。今後の売上D Iについては、対当期比+14.9ポイントの▲10.7と大幅な改善を見込んでいます。



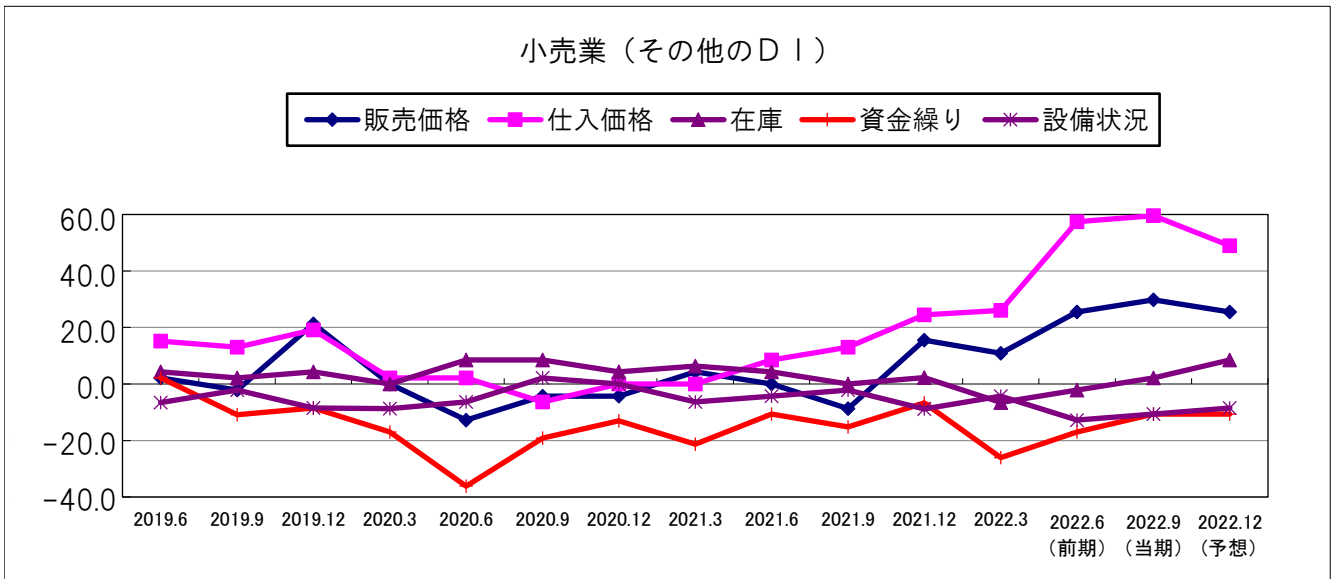
○収益D I



収益D Iは、対前期比▲12.8ポイントの▲38.3(前年同期▲32.6・前回予想との差▲21.3)と大幅な悪化となりました。今後の収益D Iについては、対当期比+19.1ポイントの▲19.2と大幅な改善を見込んでいます。



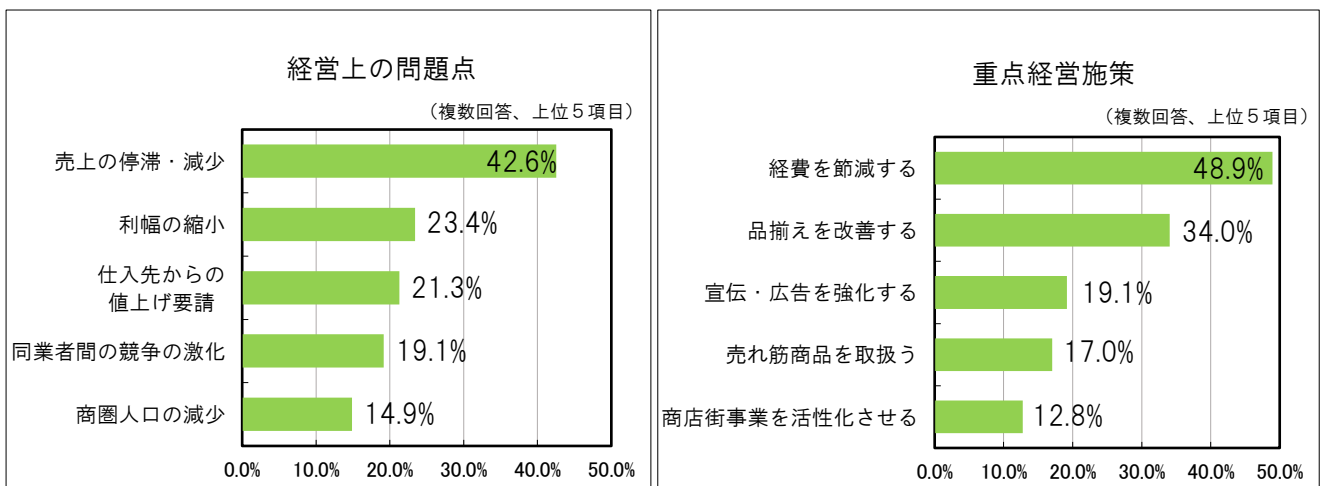
その他のD I 推移



○その他のD I

対前期比でみると、販売価格DIは+4.3ポイントの29.8、仕入価格DIは+2.2ポイントの59.6、在庫DIは+4.2ポイントの2.1、資金繰りDIは+6.4ポイントの▲10.6、設備状況DIは+2.2ポイントの▲10.6となりました。今後は、在庫DI・設備状況DIは上昇、資金繰りDIは横這い、販売価格DI・仕入価格DIは低下を見込んでいます。

経営課題・重点施策



【経営課題】

経営上の問題点として挙げられたのは「売上の停滞・減少」が42.6%と最も多く、次いで「利幅の縮小」23.4%、「仕入先からの値上げ要請」21.3%、「同業者間の競争の激化」19.1%、「商圈人口の減少」が14.9%となりました。

【重点施策】

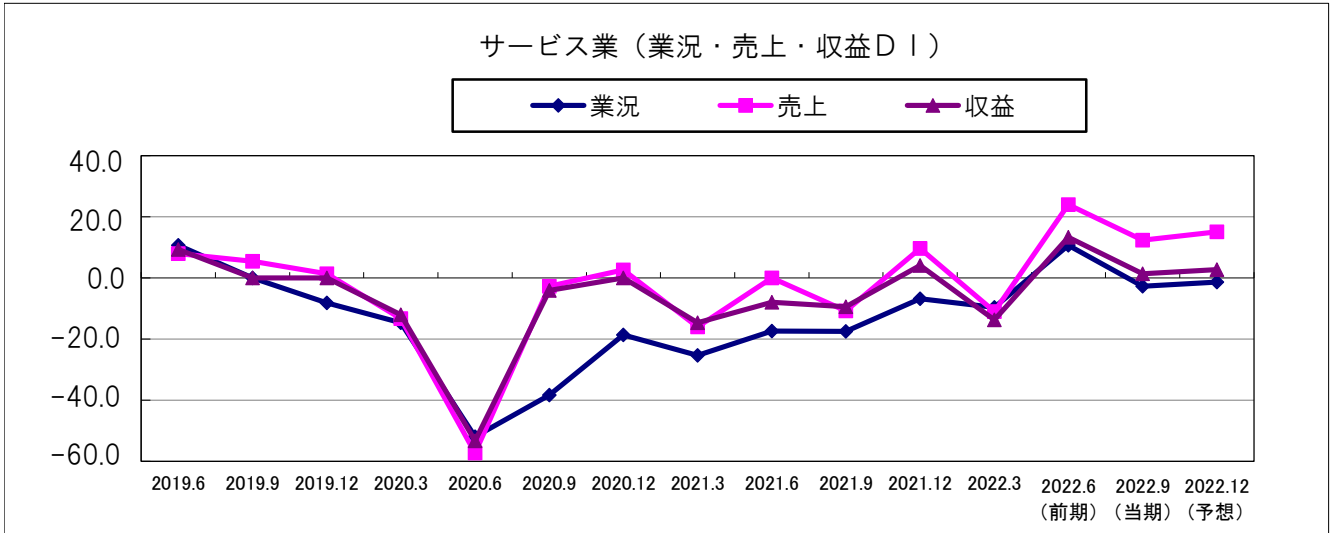
当面の重点経営施策として挙げられたのは「経費を節減する」が48.9%と最も多く、次いで「品揃えを改善する」34.0%、「宣伝・広告を強化する」19.1%、「売れ筋商品を取扱う」17.0%、「商店街事業を活性化させる」が12.8%となりました。

サービス業

今期：業況・売上・収益D I 共に悪化

来期：業況・売上・収益D I 共に改善の見込み

主要D I 推移



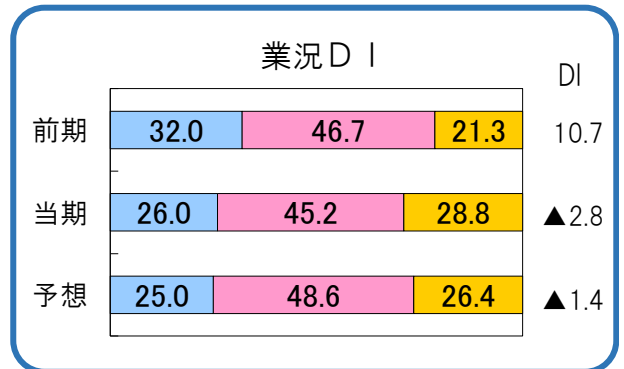
主要D I 構成



○業況D I



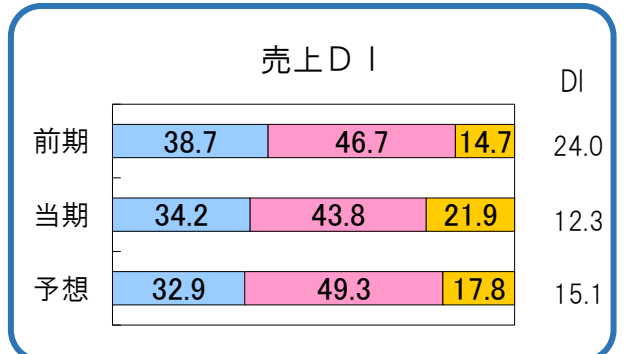
業況DIは、対前期比▲13.5ポイントの▲2.8(前年同期▲17.5・前回予想との差▲10.8)と大幅な悪化となりました。今後の業況DIについては、対当期比+1.4ポイントの▲1.4と改善を見込んでいます。



○売上D I



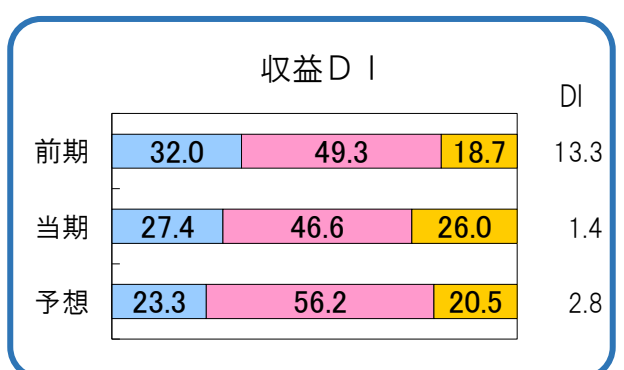
売上DIは、対前期比▲11.7ポイントの12.3(前年同期▲10.8・前回予想との差▲5.0)と大幅な悪化となりました。今後の売上DIについては、対当期比+2.8ポイントの15.1と改善を見込んでいます。



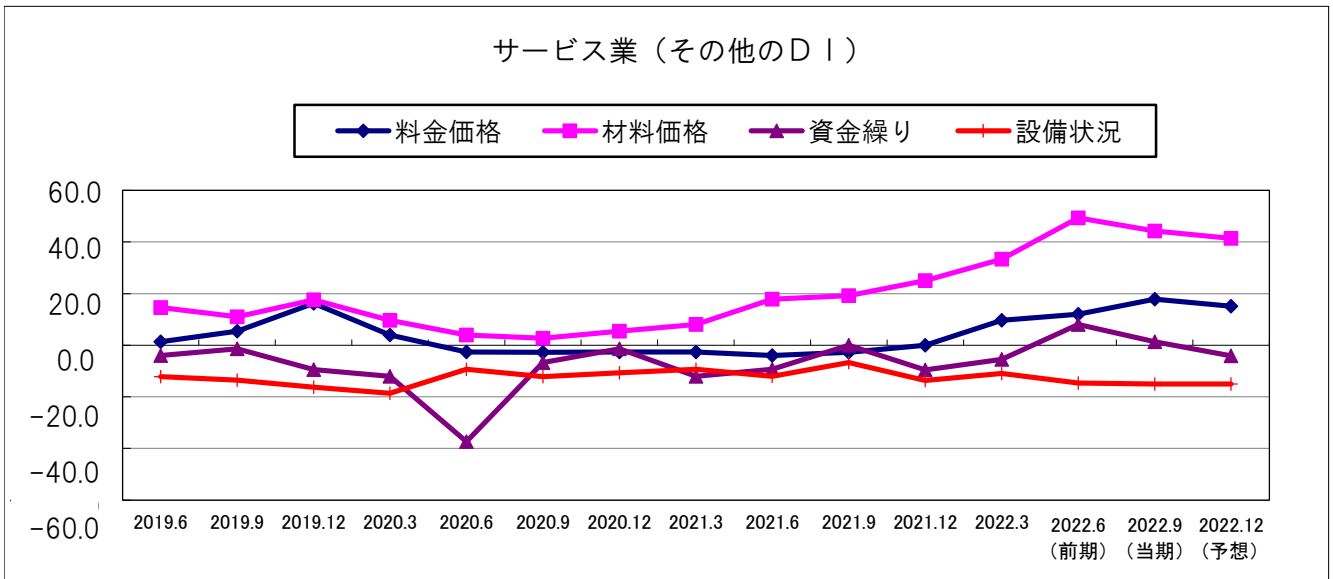
○収益D I



収益DIは、対前期比▲11.9ポイントの1.4(前年同期▲9.5・前回予想との差+1.4)と大幅な悪化となりました。今後の収益DIについては、対当期比+1.4ポイントの2.8と改善を見込んでいます。



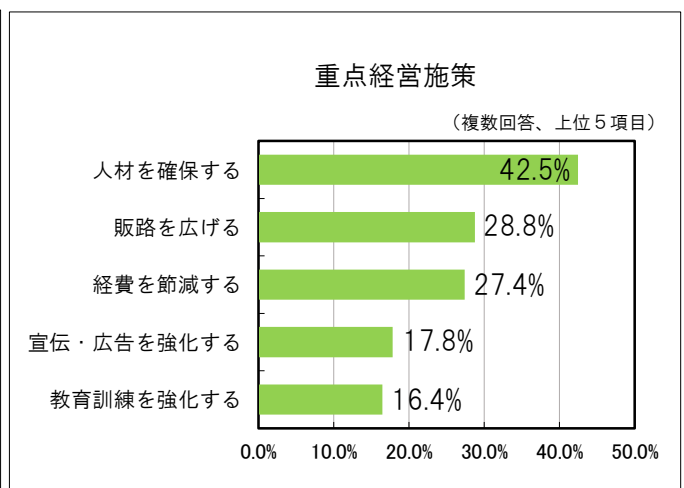
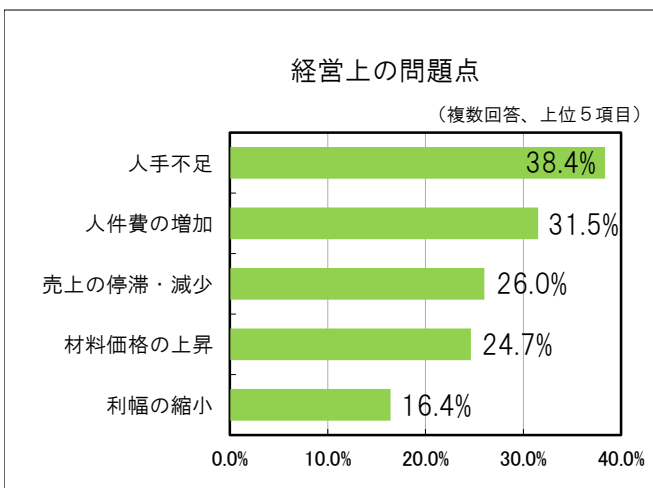
その他のD I 推移



○その他のD I

対前期比でみると、料金価格DIは+5.8ポイントの17.8、材料価格DIは▲5.0ポイントの44.3、資金繰りDIは▲6.6ポイントの1.4、設備状況DIは▲0.4ポイントの▲15.1となりました。今後は設備状況DIは横這い、料金価格DI・材料価格DI・資金繰りDIで低下を見込んでいます。

経営課題・重点施策



【経営課題】

経営上の問題点として挙げられたのは「人手不足」が38.4%と最も多く、次いで「人件費の増加」31.5%、「売上の停滞・減少」26.0%、「材料価格の上昇」24.7%、「利幅の縮小」16.4%となりました。

【重点施策】

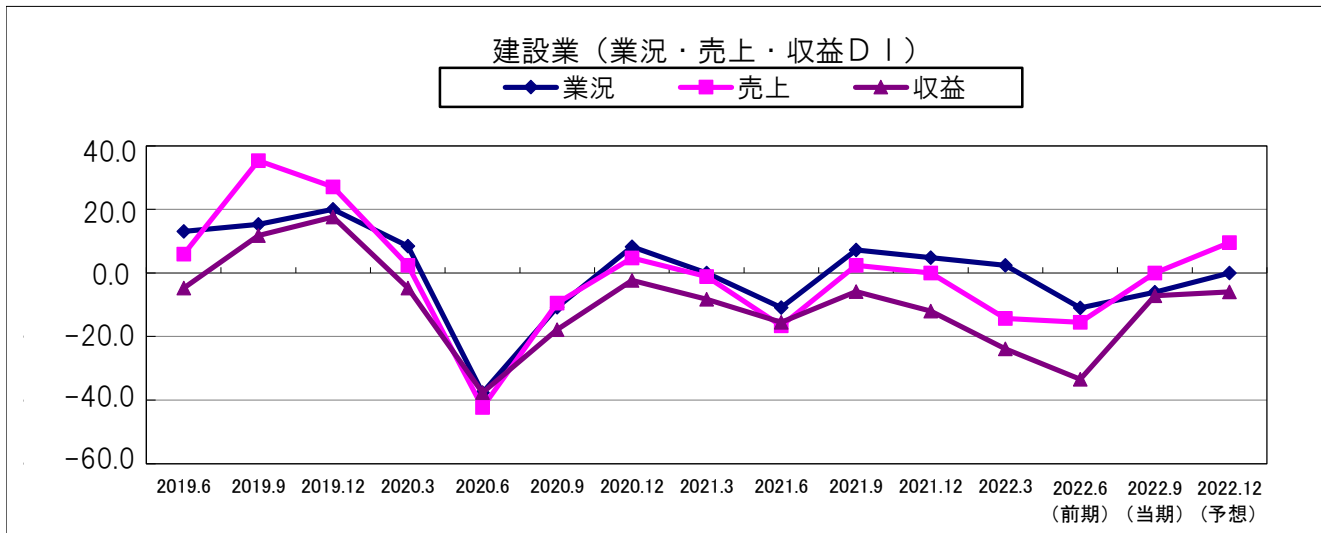
当面の重点経営施策として挙げられたのは「人材を確保する」が42.5%と最も多く、次いで「販路を広げる」28.8%、「経費を節減する」27.4%、「宣伝・広告を強化する」17.8%、「教育訓練を強化する」16.4%となりました。

建設業

今期：業況・売上・収益D I 共に改善

来期：業況・売上・収益D I 共に改善の見込み

主要D I 推移



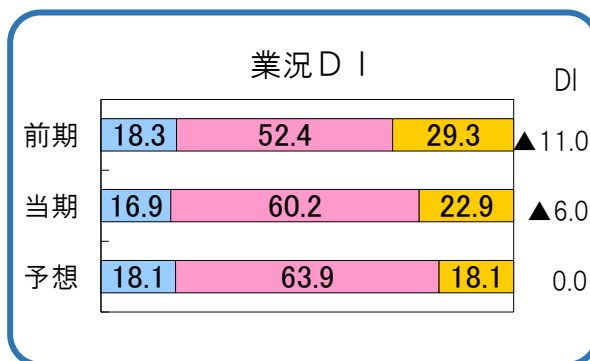
主要D I 構成

■ 良い増加
■ 普通変らず
■ 悪い減少

○業況D I



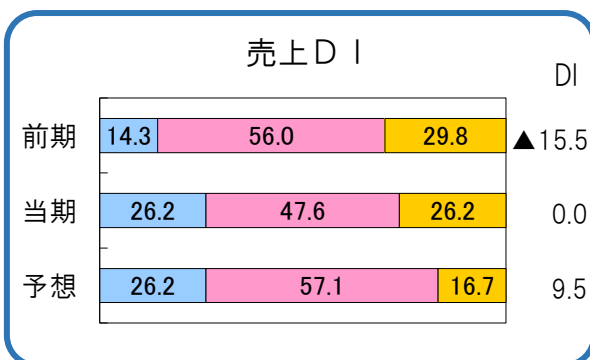
業況DIは、対前期比+5.0ポイントの▲6.0(前年同期7.2・前回予想との差▲4.8)と4期ぶりの改善となりました。今後の業況DIについては、対当期比+6.0ポイントの0.0と改善を見込んでいます。



○売上D I



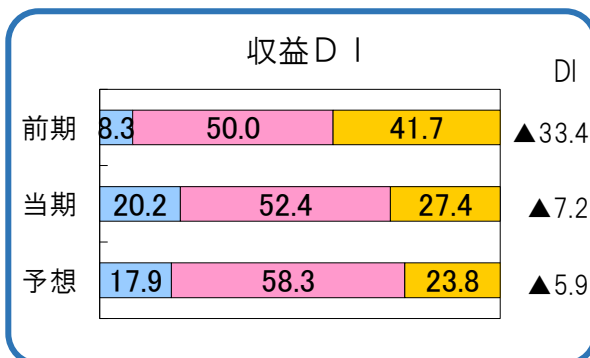
売上DIは、対前期比+15.5ポイントの0.0(前年同期2.4・前回予想との差▲2.4)と4期ぶりの改善となりました。今後の売上DIについては、対当期比+9.5ポイントの9.5と改善を見込んでいます。



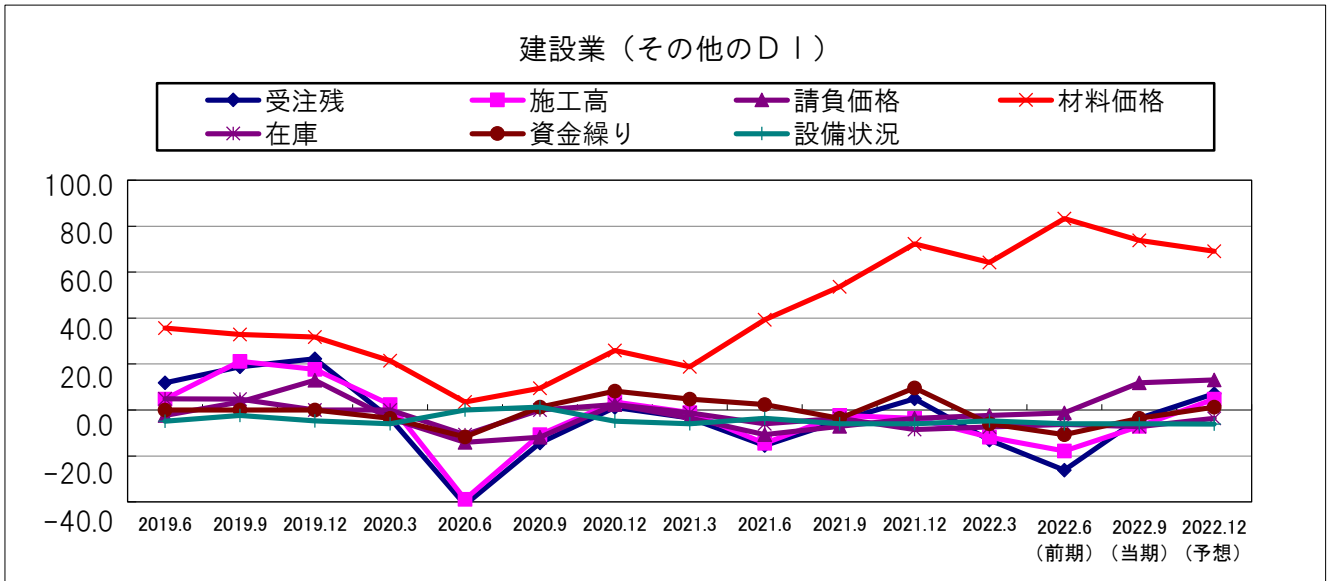
○収益D I



収益DIは、対前期比の+26.2ポイントの▲7.2(前年同期▲5.9・前回予想との差+5.9)と大幅な改善となりました。今後の収益DIについては、対当期比+1.3ポイントの▲5.9と改善を見込んでいます。



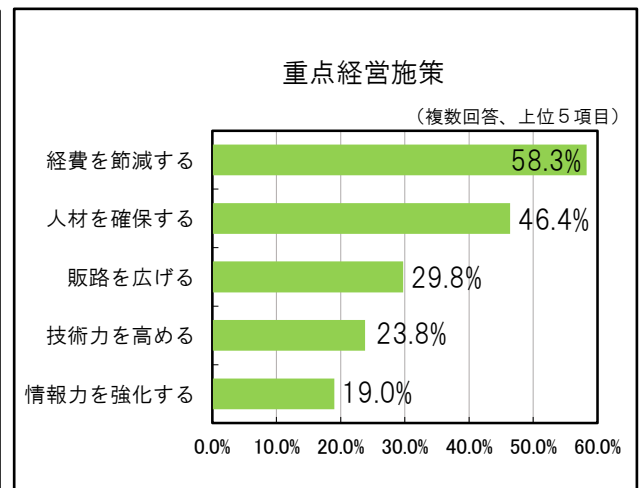
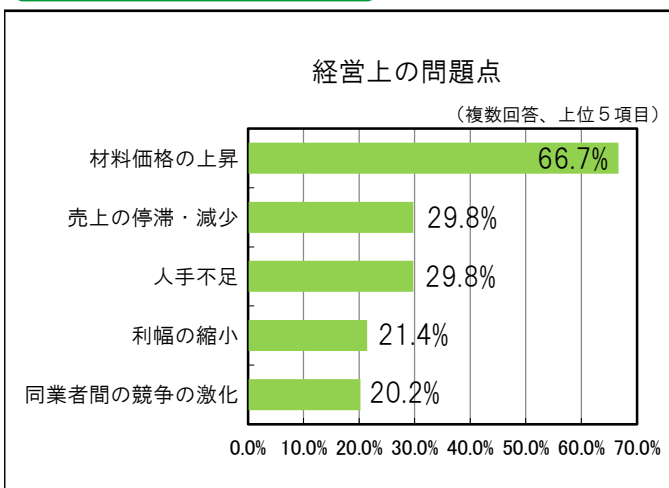
その他のD I 推移



○その他のD I

対前期比でみると、受注残DIは+22.6ポイントの▲3.6、施工高DIは+10.8ポイントの▲7.1、請負価格DIは+13.1ポイントの11.9、材料価格DIは▲9.5ポイントの73.8、在庫DIは▲0.9ポイントの▲7.2、資金繰りDIは+7.1ポイントの▲3.6、設備状況DIは±0.0ポイントの▲6.0となりました。今後は、受注残DI・施工高DI・請負価格DI・在庫DI・資金繰りDIは上昇、材料価格DI、設備状況DIは低下を見込んでいます。

経営課題・重点施策



【経営課題】

経営上の問題点として挙げられたのは「材料価格の上昇」が66.7%と最も多く、次いで「売上の停滞・減少」「人手不足」が共に29.8%、「利幅の縮小」21.4%、「同業者間の競争の激化」20.2%となりました。

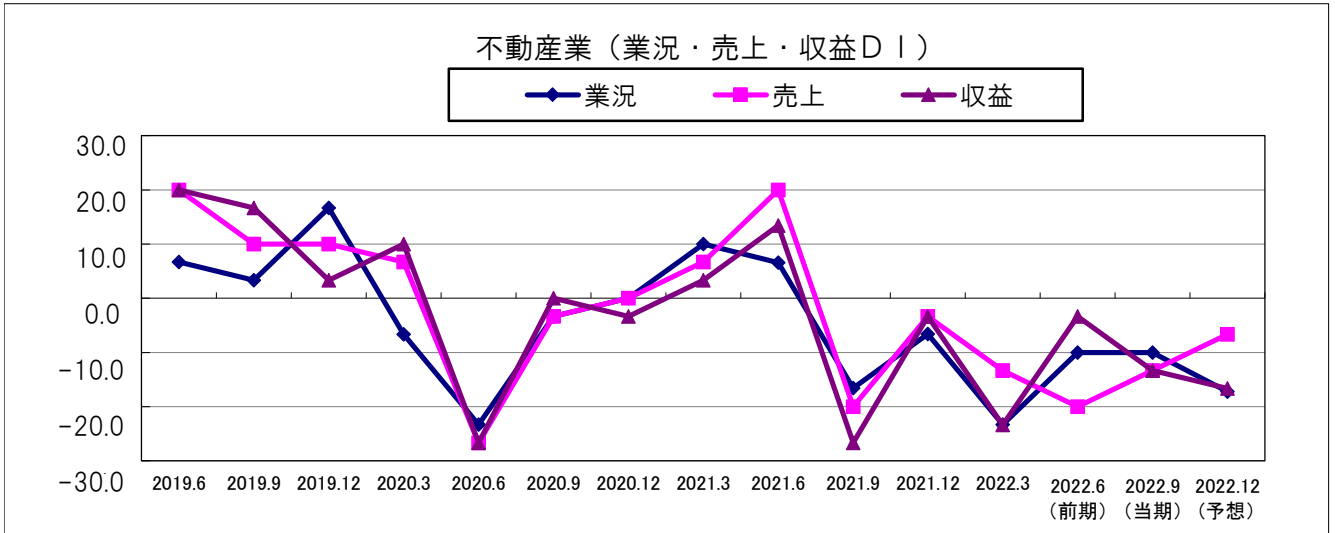
【重点施策】

当面の重点経営施策として挙げられたのは「経費を節減する」が58.3%と最も多く、次いで「人材を確保する」46.4%、「販路を広げる」29.8%、「技術力を高める」23.8%、「情報力を強化する」19.0%となりました。

不動産業

今期：売上DIは改善、業況DIは横這い、収益DIは悪化
 来期：売上DIは改善、業況・収益DIは悪化の見込み

主要DI推移



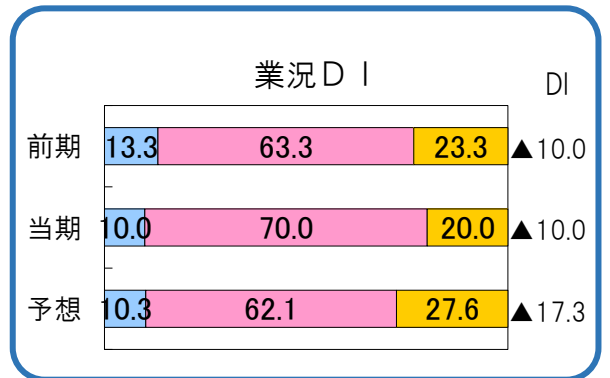
主要DI構成



○業況DI



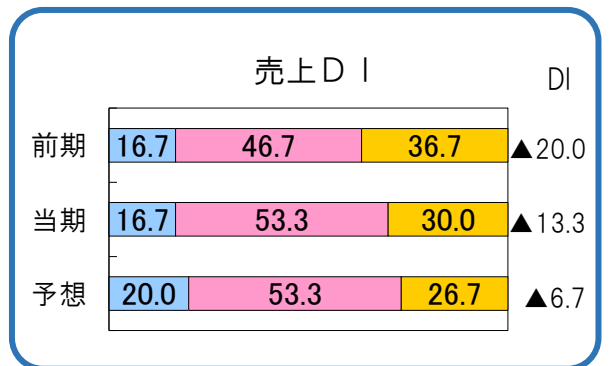
業況DIは、対前期比±0.0ポイントの▲10.0（前年同期▲16.6・前回予想との差+6.7）の横這いとなりました。今後の業況DIについては、対当期比▲7.3ポイントの▲17.3と悪化を見込んでいます。



○売上DI



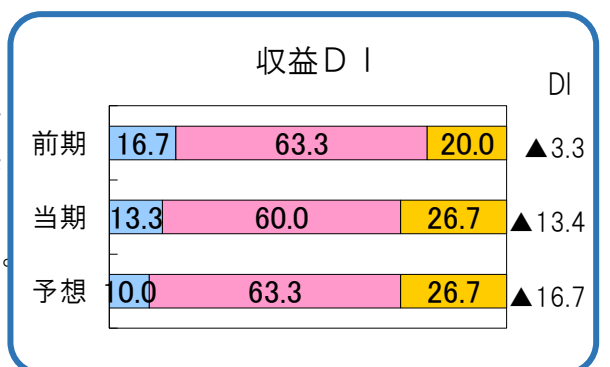
売上DIは、対前期比+6.7ポイントの▲13.3（前年同期▲20.0・前回予想との差▲3.3）と3期ぶりの改善となりました。今後の売上DIについては、対当期比+6.6ポイントの▲6.7と改善を見込んでいます。



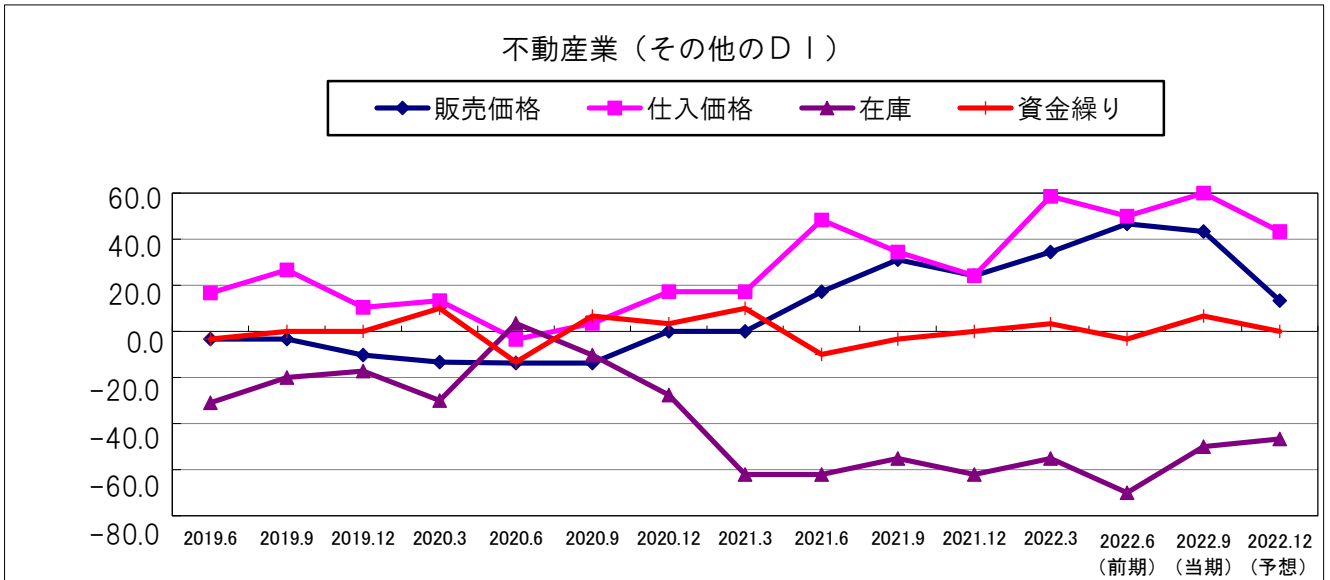
○収益DI



収益DIは、対前期比▲10.1ポイントの▲13.4（前年同期▲26.7・前回予想との差▲16.7）と大幅な悪化となりました。今後の収益DIについては、対当期比▲3.3ポイントの▲16.7と悪化を見込んでいます。



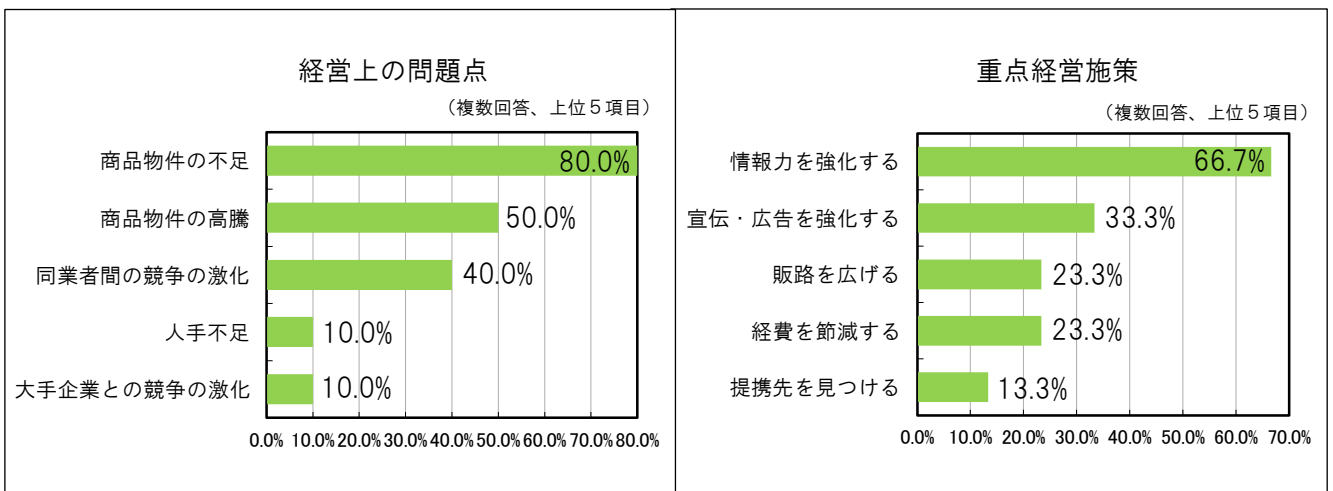
その他のD I 推移



○その他のD I

対前期比で見ると、販売価格DIは▲3.4ポイントの43.3、仕入価格DIは+10.0ポイントの60.0、在庫DIは+20.0ポイントの▲50.0、資金繰りDIは+10.0ポイントの6.7となりました。今後は、在庫DIは上昇、販売価格DI・仕入価格DI・資金繰りDIは低下を見込んでいます。

経営課題・重点施策



【経営課題】

経営上の問題点として挙げられたのは「商品物件の不足」が80.0%と最も多く、次いで「商品物件の高騰」50.0%、「同業者間の競争の激化」40.0%、「人手不足」「大手企業との競争の激化」が共に10.0%となりました。

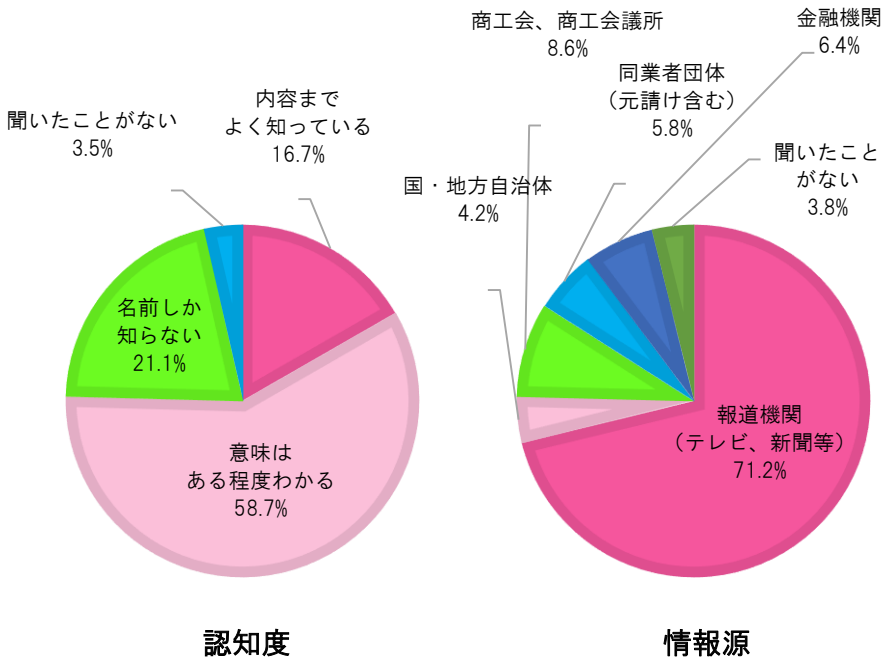
【重点施策】

当面の重点経営施策として挙げられたのは「情報力を強化する」が66.7%と最も多く、次いで「宣伝・広告を強化する」33.3%、「販路を広げる」「経費を節減する」が23.3%、「提携先を見つける」13.3%となりました。

特別調査

中小企業における SDGs（持続可能な開発目標）の取組状況について

1 SDGs についてどのような認知度にありますか。

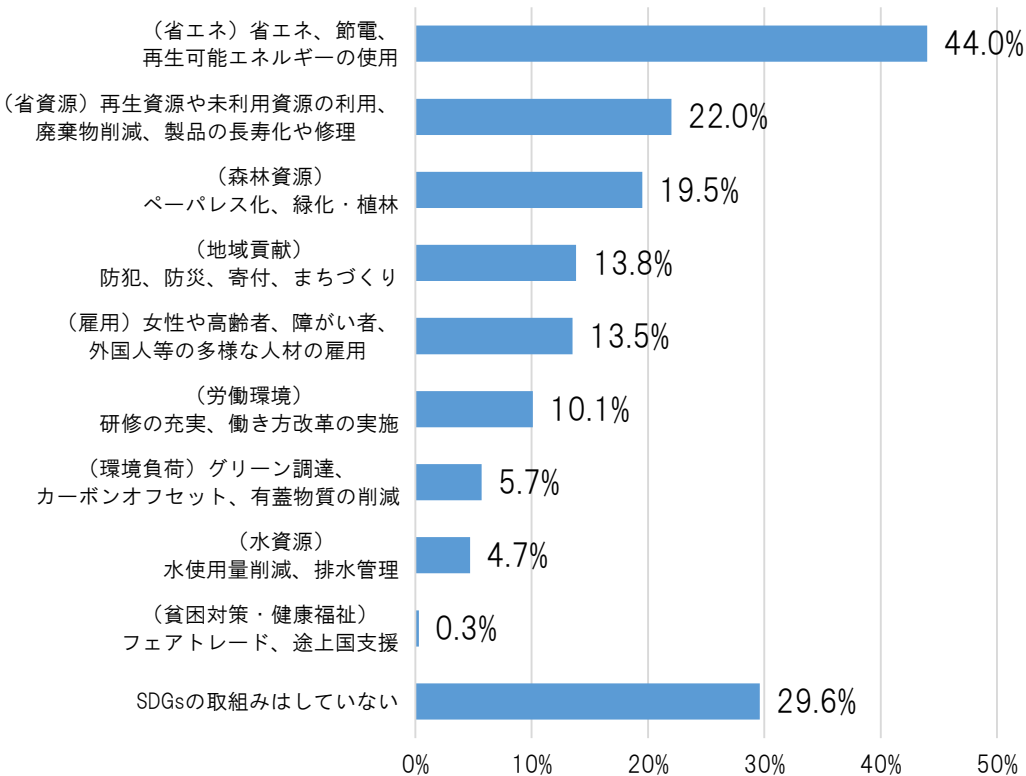


SDGs についての認知度と情報源について

SDGs への認知度については、「内容までよく知っている」が 16.7%、「意味はある程度わかる」が 58.7%となり、7 割以上の企業に認知が広がっています。一方「名前しか知らない」21.1%、「聞いたことがない」3.5%の回答となっています。

情報源としては「報道機関」が 71.2%と最も多く、次いで「商工会、商工団体」8.6%、「金融機関」6.4%、「同業者団体」5.8%、「国・地方自治体」4.2%となりました。

2 行っている SDGs の取組みについてお答えください。



SDGs の理念と一致する取組みの実施状況について

SDGs の理念と一致する取組みの実行状況については、「省エネ、節電、再生可能エネルギーの使用」が 44.0%と最も多くなりました。次いで「再生資源や未利用資源の利用、廃棄物削減、製品の長寿化や修理」22.0%、「ペーパーレス化、緑化・植林」と省エネ・省資源・森林資源が多くなっています。

一方「SDGs の取組みをしていない」は 29.6%となりました。

平塚信用金庫 営業統括部
平塚市紅谷町 11-19
(TEL 0463-24-3031)